



日刊日曜日誌
日刊一ヶ月廿五銭
月刊一ヶ月廿五銭
半年一ヶ月廿五銭
一年一ヶ月廿五銭
發行所 平野新聞社
〒100 東京都千代田区千代田
電話 二二二二

アイスクリームのアイ
スは氷でケーキはク
クに同じく餅ま菓子
そで氷の菓子と云ふ
ことなる、アイスキ
ャンデーのキャンデー
は氷砂糖、砂糖を固め
てつくった菓子の意だ

その他多数の歌送があつた
大嶺候補の
政見発表
平野新聞社大嶺氏の政見發
表演説會は今日午後七時か
ら大町青物市場に於て開催す
ると

川前村桶賣の
駒躍成績
昨年十八圓余高
石城郡川前村桶賣市場の駒躍
は本月四日から六日に至る三
日間行はれたが同区内の本年
の春駒出場は百五十頭で此の
總額一萬三千三百五十三圓一
頭平均八十九圓二錢の好價を
示し牝馬の最高二百三十一圓
同最低四十六圓、牡馬の最高
百六十八圓、最低三十圓の成
績を上げた昨年比すれば頭
數で五頭多く總額に於ては三
千三百三十九圓増、また一頭の
平均では十八圓五十六錢高か
つた

磐女の學力考查
縣立磐城高女では第一學期の
學力考查を爲されてゐたが去
る六日に終了した

富岡署の自白を
否認して無罪
双葉郡富岡署の不潔見川佐久
間信一郎は過ぐる同村の村議
選挙に於て議員に當選したが
違反の嫌疑を受け富岡署の取
調に對する富岡の言を其まゝ認
したるも平野新聞の取調に
對し富岡署の取調が拷問に
等しかつた爲めそう云つたも
のと否認し今日七日の公判で證
人として訊問無罪となつたが
信一郎氏は村議を辭退し次點
者の義勇松本松治氏を浮み上
らした

選挙の期日切迫に

平署の取締愈よ厳

蟻も逃さぬ監視の眼

平署では市議選挙の投票日まで
中二日に迫つたので戸別訪
問及び悪質な違反行為はこの
最後の間に於て殊に多きを例と
するに鑑み厳重なる監視取締
に當つてゐるが既に其の筋に
検査されたもの十数件に上
り取調へは全部検事局の手に
爲されてゐるが悪質なもの

事務所や立看板は

九日夜十二時限り

撤去せられ之れも違反

選挙投票日當日は投票所を中
心とする三町以内に於ける運
動行為を絶対に禁止されてゐ
るが平市議員選挙の當日に
於ける該区域は東部方面本町
通り三丁目縣農銀支店前及び
警察前通り料理店第一新橋前
並びに驛前通り白銀町不二タ
クシーに至る以内、西部方面
は平商業校南裏運動場脇の登
坂口、古銀治町縣子鐵道神
社前、土橋通り聚樂館附近、
才穂小路武蔵鐵道工場前、舊城
跡管林等及び等の一帯の區
域内に於ける選挙事務所、各
候補の立看板、選挙に関する
貼札等は十日の投票日に先き
立つ九日夜の十二時限り撤去
し尚ほ投票當日右區域内に於
て演説會のビラを配撒する

立會人

届出は明日まで
平市議選挙投票所の立會人は
各候補から明日八日までに届出
する筈になつてゐるが今日七
日正午迄の届出者は左記の如く
である

- ▲候補者 酒井清(橋山謙) ▲
關内正一(柏原眞吾) ▲山野
邊義政(眞木恒) ▲松崎治
(鈴木勇) 同人 平野投票所
立會人(松崎金市郎) ▲佐々
木龍若(馬場武太郎) ▲高橋
龜松(吉江忠愛) ▲長瀬富彌
(阿部太) ▲矢吹初彌(鈴

災害復舊工事施行

總額一萬四千圓余

河川道路十九ヶ所の

平土木監督所では昨十一年度
及び十一年度の災害復舊工事河
川道路十九ヶ所に對し最近競
争入札を執行したが其の結果
左記の落札を決したが工費一
千圓以上は七十日、同以下は
四十五日間に竣功の豫定であ
るから九月下旬から十月上旬
にかけて何れも落成の筈で工
事の總額は一萬四千七百三圓
である

- ▲道路上三坂平線好間村北
好間字権現堂工費一八三〇
圓 諸費者強口唯七郎 同永
戸村合戸宿中橋一四万〇圓
同人 同永戸村箕輪村境界
地點大成澤橋一八七〇圓 同
人 同箕輪村大和字大和八
〇〇圓 同人 横川小野新町
線三坂村上三坂橋九一〇〇
圓 加藤藤治 三株勿來線田
人村南大平四八七圓 中山吉
之助 同田人村の旅人字江
尻五五六圓 同人 小野新町
平線下小川村下小川字前原
三三二圓 萩野右吉 河川蛟
川植田町の植田一七五圓
坂瀬巴三 同錦村江架字下

満州へ

眞田朝春君
平市古銀治町眞田朝春君は
昨年仙台歩兵四聯隊衛生兵に
入營軍務中であるが今同滿州
部隊に編入されて休暇歸省今
七日午後一時五十分平野發
下りで一且原隊へ歸還し直ち
に滿州へ出發することになつ
たので今日の平野發に市内
在郷軍人分會外各種團體代表

体刑罰金

選挙違反

廣野村犯人五名

双葉郡廣野村の下淺見川鯉飼
龜藏(四)は過ぐる村議の改選
に富選の榮を握つたが村内の
松本治郎(五)久保田傳三(三)
松本傳吉(四)高木松藏(五)を
自宅に招き一圓乃至三圓づつ
を供與した買収の事實を發覺
検査されて今日七日の公判で龜
藏は検事の求刑三月を二ヶつた

四倉市場

平均五五圓九四錢

昨年より八圓六四錢高

四倉市場は昨報の如く去月
末春駒の取引を閉じたが今春
駒の同市場取扱いは白駒二
〇二一圓一三〇〇、黄駒二
〇八九圓七四〇、合計二萬二
千三百八十圓八十七圓で豫定
したる二萬八千圓より五千七
百圓少なかつたが昨年の同期
取扱ひ高二萬一千五百七十二
圓に比すれば七百四十八圓を
増加し出荷の方面は

隨筆

目黒祐天寺より

(勿來文庫雜抄)
一同拾壹人、川中子村、
右五ヶ村、普請方へ欠願、
普請奉行差圖ヲ請候様申付
置候、
右之通、火消道具爲持、早

横着床屋に科料

全生の体操演習

兒童聯合唱歌會

石城郡内郷村の綴居松山坑
夫水戸忠良(三)は平市古銀商
山田文一方から前後數回に亘
つて鐵材を窃取したこと發覺
平署に検査取調中である

坑夫の古鐵泥

蚊の防除陳情

中毒死亡

無心に食べた幼児
石城郡江名町の神白字大澤
農加藤一與の二女あま(六)は
去る五日午後六時半頃同町沼
澤地内に於て毒ウヅキと稱す
る實を食へて急性な中毒を起
し間もなく死亡したが一件に
増加し出荷の方面は

鮫川漁史

東名主、組頭其場所へ相詰
候様申付置候、右火消道具
有之候節ハ、改普相渡置申
候、此度も渡り切ニ致置候
右村々渡道具之外、町中會
所ニも火消道具、梯子共支
度致置候、
火共ニ町、在之者消候得
而何致退申候、
但、城下町定之儀ハ、町
奉行方より申傳候、
一郷村之儀ハ、近郷爲申合
火消候様申付置候、併城
下、近在、町居同然之所
計申付候、尤江戶表へも
家數ニ寄申達候、

